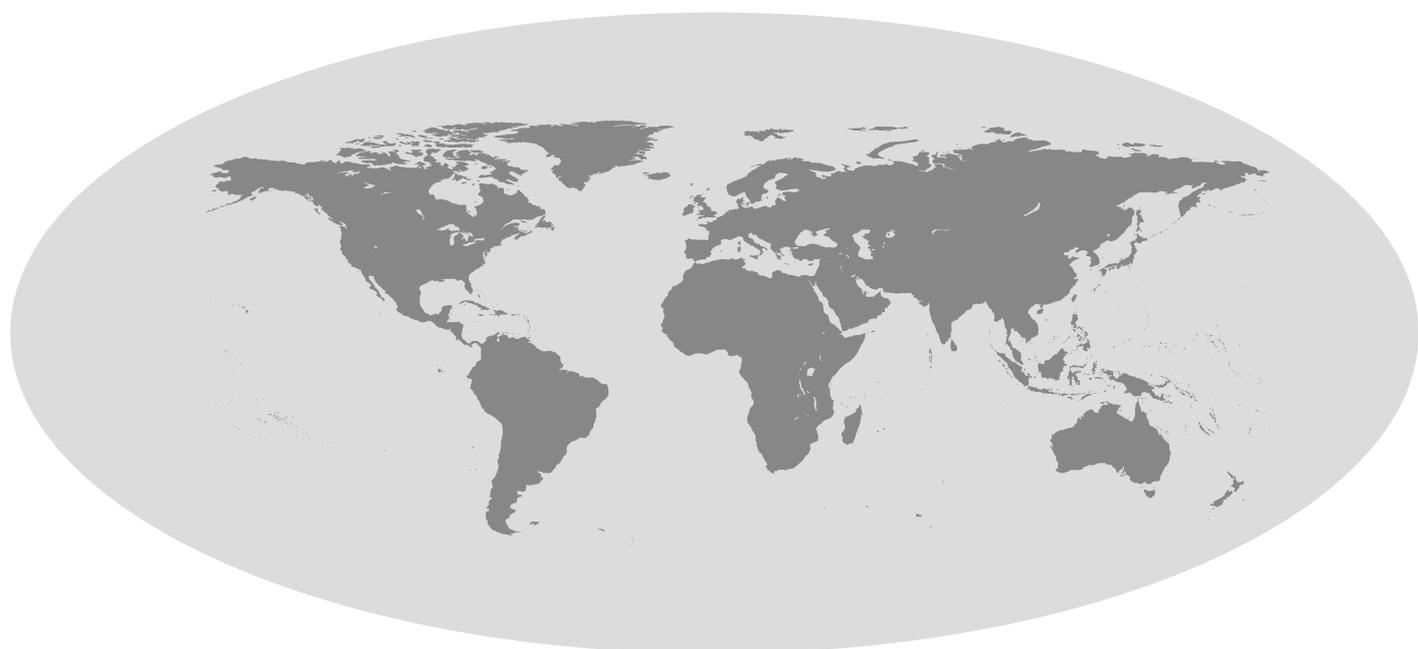


# Let's Learn College English



平成30年度 英語履修案内

2018

Niigata University

# 目 次

○ 英語授業科目の紹介	
アカデミック英語R1・R2	1
アカデミック英語L1・L2	1
アカデミック英語W	1
基礎英語	1
発展英語	1
応用英語	2
実践英語	2
iStep (アイ・ステップ)	2
iStep Continuation (アイ・ステップ・コンティニュエーション)	2
EAP (イー・エー・ピー)	2～3
○ TOEIC® テストについて	3
○ 一般的な履修パターン例	4
○ ALC NetAcademy NEXT による学習について	5
○ 学部別英語履修案内	
英語の履修基準	7
人文学部	7
教育学部	8
法学部	8
経済学部	8
理学部	9
医学部・医学科	9
医学部・保健学科	10
歯学部	10
工学部	11
農学部	11
創生学部	12
英語履修相談室	13

## 英語授業科目の紹介

**アカデミック英語R1 (Academic English R1) : 第1ターム・週1回授業・0.5単位**

**アカデミック英語R2 (Academic English R2) : 第2ターム・週1回授業・0.5単位**

この授業では、大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な一般学術目的の英語 (English for General Academic Purposes) で書かれた文書を正確に読むことができる力を養成します。また、ネットワーク型のコンピュータ支援言語学習教材 ALC NetAcademy NEXT (\*) を課外学習することにより、第2タームに予定されている TOEIC® 受験に備えます。なお、この課外学習は成績の一部となります。

この授業は、1年次第1・第2タームに学部別に開講され、入試成績等 (\*\*) に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。第3・第4タームには、再履修者用のクラスが開講されます。第2タームに学外学修プログラムを選択してアカデミック英語R2を履修できない学生は、1年次第4タームに開講される再履修者用のクラスを履修するか、2年次以降、第2タームに開講される新1年生向けのクラスを履修してください。

(\*) ALC NetAcademy NEXT (アルク・ネットアカデミー・ネクスト) は、インターネットに接続したパソコンで24時間どこからでも学習できます。

(\*\*) 「入試成績等」とは、大学入試センター試験成績、個別試験成績、調査書の評点等を示します。なお、これらは習熟度別クラス編成の参考としてのみ限定して利用し、その他の目的には一切使用しません。

**アカデミック英語L1 (Academic English L1) : 第1ターム・週1回授業・0.5単位**

**アカデミック英語L2 (Academic English L2) : 第2ターム・週1回授業・0.5単位**

この授業では、大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な一般学術目的の英語 (English for General Academic Purposes) で話された言葉を正確に理解することができる力を養成します。1年次第1・第2タームに学部別に開講され、入試成績等に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。第3・第4タームには、再履修者用のクラスが開講されます。第2タームに学外学修プログラムを選択してアカデミック英語L2を履修できない学生は、1年次第4タームに開講される再履修者用のクラスを履修するか、2年次以降、第2タームに開講される新1年生向けのクラスを履修してください。

**アカデミック英語W (Academic English W) : 週1回授業・1単位**

この授業では、大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な一般学術目的の英語 (English for General Academic Purposes) で文章を書くことができる力を養成します。1年次第3・第4タームに学部別に開講され、TOEIC® の成績に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。2年次第1・第2タームには、再履修者用のクラスが開講されます。

**基礎英語 (Basic English) : 週1回授業・1単位**

1年次第2タームに受験した TOEIC® で470点 (1単位認定基準) に達しなかった学生は、1年次第3・第4タームに基礎英語を履修することになります (医学部医学科を除く)。この授業では、一般目的の英語 (English for General Purposes) の運用能力の強化・充実を目指し、主に基礎的な読解力を養成します。また、ネットワーク型のコンピュータ支援言語学習教材 ALC NetAcademy NEXT の課外学習により基礎力の増強を図り、成績評価の一部とします。この授業は、1年次第3・第4タームに学部別に開講され、TOEIC® の成績に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。2年次第1・第2タームには、再履修者用のクラスが開講されます。

**発展英語 (Advanced English) : 週1回授業・2単位 (平成31年度より科目名・内容等変更予定)**

基礎英語の単位を取得済みであるか、TOEIC® で470点以上を獲得した学生を対象として開講され、実践的な英語運用能力の向上を目指した学習を少人数クラスで行います。

歯学部の学生で、1年次第2タームに受験した TOEIC® で470点以上の成績を収めて基礎英語の単位を認定された人は、1年次第3・第4タームに学部指定の発展英語を履修してください (法学部の学生も学部指定の発展英語が履修可能です)。

**応用英語 (Applied English) : 週 1 回授業・2 単位 (平成31年度より科目名・内容等変更予定)**

アカデミック英語(リーディング)、アカデミック英語(リスニング)、アカデミック英語(ライティング)、基礎英語の4単位を取得済みであり、TOEIC®で730点(あるいは英検準1級)以上のレベルの学生を対象とする上級クラスです。より少人数の理想的なクラス規模によって、英語による応用力養成を図るための科目です。

**実践英語 (Practical English) : 週 1 回授業・1 単位**

医学部医学科1年生を対象として開講され、一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)で話された言葉を正確に理解することができる力を中心とした、実践的な英語運用能力の向上を目指した学習を行います。1年次第3・第4タームに開講され、TOEIC®の成績に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。

**iStep (アイ・ステップ) : 第2ターム集中・週4回授業・2 単位**

1年生の希望者向け集中英語コースiStep(Intensive Short Term English Program)では、海外での語学研修に準じた密度の高い学習を行います。4技能コース、スピーキング&リスニング・コース、ライティング&リーディング・コースの3つに分かれて、少人数クラスで一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)の運用能力向上を目指します。履修を希望する人は、詳細および履修方法について下記のリンク先を必ず参照してください。

詳細：[https://www.iess.niigata-u.ac.jp/eigo/english/course\\_title\\_29.html](https://www.iess.niigata-u.ac.jp/eigo/english/course_title_29.html)

(新潟大学ホームページのトップページから「学部・大学院」→「教育」→「教育プログラム」→「全学英語ポータルサイト」へと辿り、そこに表示されているリンクをクリックして、左フレームの「授業科目の紹介」から閲覧することもできます。)

注意：今年度からiStep科目の単位によるアカデミック英語科目群および基礎英語の単位の充足はしないことになりました。そのため、iStepを履修する学生も、所属学部の履修基準に従って、アカデミック英語R1・R2、アカデミック英語L1・L2、アカデミック英語W、基礎英語を聴講登録・履修することが必要です。

**iStep Continuation (アイ・ステップ・コンティニュエーション) :**

**第3・第4ターム・週1回授業・1 単位**

第2タームの集中英語コースiStepを修了し、さらに一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)の実践的な運用能力向上を目指す学生向けに開講される科目です。第2タームのiStep修了者を優先しますが、定員に余裕がある場合はだれでも履修することができます(全学年・全学部)。以下の科目から自由に選択してください。

iStep Continuation: Academic Writing

iStep Continuation: Intercultural Communication

iStep Continuation: Academic Reading

iStep Continuation: Academic Listening & Speaking

iStep Continuation: Presentation

iStep Continuation: Pronunciation

iStep Continuation: Oral Communication

**EAP (イー・エー・ピー) : 第1ターム・週1回授業・0.5単位**

**第2ターム・週1回授業・0.5単位**

**第3・第4ターム・週1回授業・1 単位**

EAP(English for Academic Purposes)は全学部の2年生以上を対象として開講され、一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)の運用能力のさらなる向上を目指します。英語の必修単位を取得済みであることが履修の条件です。以下の科目から自由に選択できます。

EAP: Academic Writing  
EAP: Creative Writing  
EAP: English Consonant Pronunciation  
EAP: English Dialogue Stress Pronunciation  
EAP: English for Engineering  
EAP: English Lexical Stress Pronunciation  
EAP: English Vowel Pronunciation  
EAP: Intercultural Theory  
EAP: Law & Society  
EAP: Presentation  
EAP: Qualitative Research Skills  
EAP: Quantitative Research Skills  
EAP: Reading Skills  
EAP: Research Report Writing  
EAP: Speaking Practicum  
EAP: Topic Based Speaking



※ 1単位の授業では週1時間、2単位の授業では週4時間の課外学習を前提とします。

## TOEIC® テストについて

新潟大学では、全員がTOEIC® IPテストを受験することになっています。TOEIC® テストは、現在約150ヶ国で実施されている英語運用能力を測るテストで、和文英訳・英文和訳などではなく、実際の場面で「どれだけ英語でコミュニケーションができるか」という力を測ります。2時間で200問に答えるマークシート方式で、出題形式は毎回同じです。結果は合否ではなく10～990点のスコアで示され、評価基準も毎回一定です。そのため、TOEIC® テストを受けると、そのスコアから現在のあなたの英語力を客観的に知ることができます。自分の実力を正確に把握すれば、今後、何をどう努力すればよいのかの指針となり、英語の学習計画をたてるのに役立ちます。

本学の1年生は、アカデミック英語R1・R2の課外学習でALC NetAcademy NEXTを利用して出題形式に慣れた上で、第2ターム（7月初旬）にTOEIC® IPテスト（団体特別受験制度）をキャンパス内の特設会場で受験します。スコアは9月上旬に各自の元に届きます。その結果、「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」と評価される470点以上の成績を収めれば、基礎英語の履修が免除されます。470点に達しなかった場合は、第3・第4タームに基礎英語を履修し、もう一度基礎固めをすることになります。TOEIC® テストで、自分の英語力を客観的に把握して、自分に合った英語学習メニューを組み立ててください。

21世紀のグローバル社会では英語でのコミュニケーション能力は不可欠です。企業の中では、TOEIC® テストで一定以上のスコアを収めることを昇任の条件としているところも少なくありません。730点以上に達すると、「どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている」と評価され、実際、海外部門の社員にはこのレベルの英語力を求める企業が増えています。自分で具体的な目標を立て、発展英語や応用英語などをおおいに活用して、卒業までにより高いレベル（860点以上）を目指しましょう。

※TOEIC® IPテスト受験申込み手続きについては、入学時のガイダンスなどで説明します。

一般的な履修パターン例

[2年生 第1・第2ターム以降]

**応用英語(2単位)履修可**

(平成31年度より科目名・内容等変更予定)

(TOEIC®730点以上の場合1年生第3・第4タームから履修可)

**発展英語(2単位)履修可**

(平成31年度より科目名・内容等変更予定)

(TOEIC®470点以上の場合1年生第3・第4タームから履修可)



[1年生 第3・第4ターム]

**アカデミック英語 W**

(1単位)履修

(TOEIC®730点以上で単位認定)

**基礎英語**

(1単位)履修

(TOEIC®470点以上で単位認定)  
(医学部医学科以外)

**実践英語**

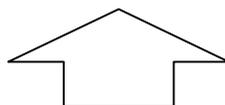
(1単位)履修

(医学部医学科のみ)



(第2ターム)

全学実施 TOEIC® IP テスト受験



[1年生 第1・第2ターム]

**アカデミック英語 R1・R2**

R1 (第1ターム・0.5単位)履修

R2 (第2ターム・0.5単位)履修

**アカデミック英語 L1・L2**

L1 (第1ターム・0.5単位)履修

L2 (第2ターム・0.5単位)履修

## ALC NetAcademy NEXT による学習について

新潟大学では、CALL (コンピュータ支援言語学習) 教材のALC NetAcademy NEXTを導入しており、自宅や大学のパソコンから24時間いつでも自主的に学習できるようになっています。自分のペースで自分のニーズに合った学習に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は着実に向上することでしょう。

ALC NetAcademy NEXTは、1年次の課外学習教材としても利用されます。第1・第2タームのアカデミック英語R1・R2では7月に行われるTOEIC®IPテストに向けた学習を、第3・第4タームの基礎英語では英語運用能力を強化するための学習を、それぞれ課外に行います。学習状況はそれぞれの科目の成績評価に反映されます。

学習の始め方に関しては、授業で配付される学習のてびきを参照してください。

# MEMO

## 学部別英語履修案内

### 英語の履修基準

新潟大学での英語の履修基準（卒業要件単位）・履修方法は学部、学科により異なり、最低履修単位数もそれぞれ異なっています。まず自分の所属する学部、学科の履修すべき単位数を確認してください。

学部・学科	英語の最低履修単位数
人文学部	4単位
教育学部	4単位
法学部	特になし
経済学部	4単位
理学部	4単位
医学部・医学科	4単位
医学部・保健学科	4～6単位
歯学部	6単位
工学部	4単位
農学部	4単位
創生学部	4単位 (英語の重点学習を選択する場合は8単位)

では、これから各学部別に、どのように英語を学んだらよいのかを説明します。

#### 人文学部

#### 英語 4単位

人文学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

## 教育学部

## 英語 4単位

教育学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

## 法学部

## 特になし

法学部では、卒業要件において、最低履修基準はありません。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC® IPテストにおいて470点以上の成績を収めた学生は、基礎英語の単位が認定されます。

## 経済学部

## 英語 4単位

経済学部の英語の最低履修基準は4単位です。

### ●昼間コース

原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

### ●夜間主コース

原則として、1年次の第1・第2タームに共通英語（週1回・1単位）、第3・第4タームに基礎英語（週1回・1単位）を履修し、さらに2年次の第1・第2タームに発展英語（週1回・2単位）を履修してください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を得た学生は基礎英語の単位が認定されますので、1年次の第3・第4タームに発展英語を履修してください。

## 理学部

## 英語 4単位

理学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

## 医学部・医学科

## 英語 4単位

医学部・医学科の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームにアカデミック英語Wと実践英語（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

医学部・保健学科では外国語の最低履修単位が、英語4単位、初修外国語2単位を含む合計8単位となっています。英語を重視するか、初修外国語を重視するかによって履修方法が2つに分かれます。

### 1) 英語を重視して、英語6単位・初修外国語2単位の場合

1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回で、合計4単位となります。

さらに、1年次の第3・第4タームに開講される入門医療英語（週1回・1単位）と、2年次以降に旭町キャンパスで開講される医療英語（週1回・2単位）から、最低あと2単位分を履修してください。

### 2) 初修外国語を重視して、英語4単位・初修外国語5単位の場合

1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

上記いずれのケースでも、アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※入門医療英語及び医療英語は、保健学科の各専攻が育成する医療職者に求められるESP（特定目的のための英語）の領域での、EAP（学問のための英語）とEOP（職業のための英語）を学習することを主目的とする科目です。看護学・放射線技術科学・検査技術科学及びその関連分野を専門にする日本人教員が担当します。

歯学部の英語の最低履修基準は6単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。さらに2年次に発展英語（週1回・2単位）を履修することになります。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されますので、1年次の第3・第4タームには、アカデミック英語Wと発展英語を履修してください。

## 工学部

## 英語 4単位

工学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

## 農学部

## 英語 4単位

農学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、基礎充実型1クラスと標準型4クラスが開講されます。入学後にクラス分けの結果を掲示しますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

創生学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語R1・R2とアカデミック英語L1・L2は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施されるTOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※2年次のスキル習得中心の科目で英語を選択する学生は、上記4単位に加えて、実践的英語科目P.A.C.E. (Program for Academic and Communicative English) 科目から4単位分を2年次に履修してください。

以上の説明はあくまでも卒業要件単位を満たすためのものです。必要単位数を満たした後で、発展英語（卒業要件に加えて4単位まで履修可能）やさらに上級の応用英語（履修単位数の制限なし）を履修することもできます。

※必要単位を満たした後で履修・修得した単位の取り扱いは、各学部学務係で確認してください。

## 英語履修相談室

必修科目などとのバッティングにより英語の聴講手続きで著しく困難をきたしている学生には、下記の通り英語履修相談室を設けますので、利用してください。

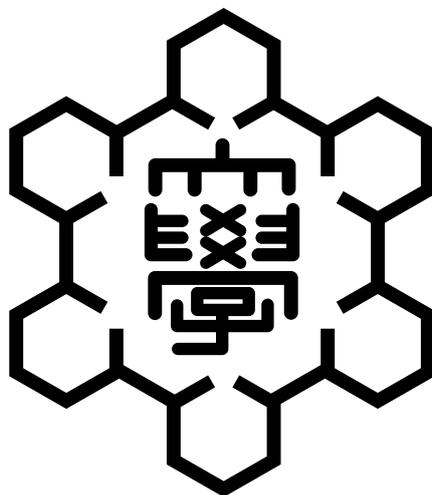
期間： 第1・第2ターム 4月5日（木）～ 4月13日（金）

第3・第4ターム 9月28日（金）～ 10月5日（金）

時間： 16時15分～16時45分

場所： 総合教育研究棟 B棟4階 B450演習室





# 新潟大学

Let's Learn College English (平成30年度 英語履修案内)

発行日／平成30年 1 月25日

発行者／新潟大学学務部教務課 (Niigata University Student Affairs Division)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町8050番地 新潟大学総合教育研究棟 (025-262-6307)

General Education Building, 8050, Ikarashi 2-no-cho, Nishiku Niigata City 950-2181, Japan

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。